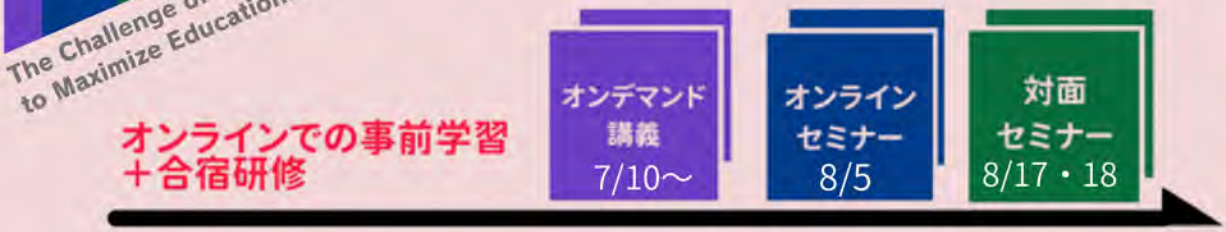
大学セミナーハウス主催 第16回大学教員研修セミナー

生成AIネイティブ時代のアクティブ・ラーニング再設計

AI時代の教育価値を最大化する授業変革への挑戦

The Challenge of Transforming Learning Methods to Maximize Educational Value in the Age of AI



2026.8.5(水)【オンラインセミナー(Zoom)】
2026.8.17(月)～18(火)1泊2日【対面セミナー】
開催場所：大学セミナーハウス(東京都八王子市下柚木1987-1)

開催趣旨

生成AIの急速な普及により，大学教育は劇的な変容を迫られています。学生がAIを日常的に使いこなす時代において，「AIに代替されない人間ならではの学び」の本質を問うと同時に，AIをより深く活用することで現在の教育の限界を突破し，授業をダイナミックに再構築することが，第16回を迎える本セミナーの中心テーマです。

セミナーでは，新任教員はもちろん，中堅・ベテランの教員まで広く参加を歓迎します。授業設計手法やアクティブ・ラーニングの基礎といった内容から，AIを活用したファシリテーションなど最先端の事例まで幅広く扱い，着任間もない教員が教育設計の土台を築けると同時に，経験豊富な教員には自らの実践をAI時代の視点で問い直す機会となるよう設計されています。また概念的な議論やノウハウの紹介に終始せず，オンデマンド講義，同時双方向セミナー，そして合宿研修という段階的なプロセスを通じ，理論と実践を往還します。

1泊2日の合宿研修では，問題意識を共有する他大学の教員や講師陣との対話を通して，日常の業務から離れて集中し，自らの授業設計に深く向き合う時間を設けます。「AI時代の教育をどう形にするか」という問いに正面から向き合い，自らの授業を具体的に書き換えていくこの研鑽の場に，皆様の積極的なご参加を心よりお待ちしております。　　（運営委員長 菊地滋夫・運営委員 福山佑樹）

募集要項

【対象】 国公私立大学で授業を担当する大学教員（非常勤講師を含む）
※新任教員のみならず、中堅やベテラン教員の参加も歓迎いたします
【定員】 ３０名（宿泊室は２～４人部屋を１人でご利用いただきます）
【参加費】大学セミナーハウス協力会員校教員 33,000円、一般校教員 44,000円、
本務校を持たない非常勤講師 33,000円
※参加費には、宿泊費・食事費、消費税を含みます
【募集締切】 2026年７月１日(水)
【申込方法】 右のQRコードまたは以下のURLの募集要項ページをご覧ください。
https://iush.jp/seminar/2026/03/656/

オンデマンド講義・タイトルと要旨

【講義１】大学生が通ってきた環境、出て行く社会
藤井恒人（東京農工大学グローバル教育院教授）

今の学生が生まれた頃にiPhoneができました。小学生の時にはLINEが新しいコミュニケーション手段に登場しました。私たちには最近の出来事も、彼らにはデフォルト。彼らの育ってきた環境、受けてきた教育をあらためて確認しましょう。そして彼らが出て行く社会を想定して、大学生活を通して身につけるべき能力をいっしょに考えましょう。

【講義２】インストラクショナルデザイン理論と実践への活用
名知秀斗（秀明大学学校教師学部専任助教）

本講義では、教育活動の「効果・効率・魅力」を高める技法、インストラクショナルデザイン（ID）の基礎を解説します。IDは分野を問わず適用可能ですが、活用には工夫が必要です。生成AIを授業設計のパートナーとして利用しながら、ガニエの９教授事象等に基づき自身の授業をリデザインするためのヒントを提供します。

【講義３】アクティブ・ラーニングの理論と実際
福山佑樹（関西学院大学共通教育センター教授）

アクティブ・ラーニング（AL）は高等教育において定着してきているが、効果的なALを実施するためには、背景などを含めて基本的な考え方を理解し、その必要性を教員が再確認することが重要である。
本セッションではAL の理論と実践例を紹介し、生成AI時代の授業に効果的にＡＬを取り入れるためのヒントを提供する。

【講義４】リフレクションからディフラクションへ
：AI共創が可能にする回折的な学び
田原真人
（IAF JAPAN 理事、参加型社会学会理事、デジタルファシリテーション研究所代表）

対話で揃った思考をAIとの壁打ちで多様化し、再び対話で統合する――この循環が、従来の省察（リフレクション）を超えた「回折（ディフラクション）」的な学びを生む。2040年に向けてホワイトカラーの働き方が変容する中、AI共創型の反転授業がなぜ未来の学びと働き方の基盤になるのかを論じる。

【講義５】困難を抱える学生の理解のために
～大学におけるダイバーシティと発達障害のある学生への支援～
村山光子（明星大学非常勤講師、明星中学校・高等学校事務長）

日本学生支援機構の調査によれば、発達障害のある学生数は5年前の約1.7倍に増加している。こうした中で高等教育の現場では対応に課題を抱える教職員も少なくない。本講義では、大学におけるダイバーシティ推進の文脈において、発達障害のある学生への理解と支援のあり方を、現状と実践例を踏まえて検討する。

【講義６】生成AI時代のポスト・アクティブラーニング
――AI-proofの観点から授業と学びを再設計する
杉森公一（北陸大学高等教育推進センター長・教授）

本講義では、AI時代に対応した21世紀型リベラルアーツ教育の必要性と、その具体的な実践方法について探求します。AIプルーフ教育の概念と、大学基準協会の調査研究をベースに、現代社会が求める人材育成の在り方を考察します。

対面セミナー・タイトル

【セッションＡ】アクティブ・ラーニングに向けた関係性作り
佐藤順子（SPAファシリテータ） ※動きやすい服装でご参加ください。

【セッションＢ】
多様性と共生・協働のための探究型アクティブ・ラーニング
諏訪茂樹（東京女子医科大学 特任准教授）

学生が人として成長するうえで特に大切なのは、自分と条件や考えの異なる他者との出会いである。ところが、学生はともすると似た者同士で集まり、閉じた関係性に甘んじてしまう。ここでは、自分とは異なる他者と相互理解を深め、共生・協働することにより、課題を効果的に解決する探究型学習の方法を紹介する。

プログラム

オンデマンド講義

7月10日（金）配信開始予定
＊講義１～6の内、３つ以上を選択して視聴していただき、オンラインセミナーのセッションにて質疑応答を行います。

オンラインセミナー

８月５日(水)　１２：５０～１５：４５

12：40～12：50　受付
12：50～13：00　開会・趣旨説明
13：00～13：30【セッションⅠ】
13：35～14：05【セッションⅡ】
14：10～14：40【セッションⅢ】
14：45～15：30【ハーベスト】
15：30～15：45　事務連絡後解散
※各セッションの間に５分の休憩

対面セミナー（大学セミナーハウス）

第１日目　８月17日（月）
12：45～13：30　受付
13：30～13：40　開会
13：40～15：10【セッションＡ】
15：10～15：30　事務連絡・宿泊室に入室
15：30～17：00【分科会①②】
17：00～17：10　休憩
17：10～18：20【ポスターセッション準備】
18：30～　夕食・情報交換会

第２日目　８月18日（火）
7：30～ 9：00　朝食・宿泊室退室
9：00～10：30【セッションＢ】
10：30～10：40　休憩
10：40～12：10【ポスターセッション】
12：10～13：00　昼食
13：00～15：00【AI共創ワークショップ】
15：00～15：30　閉会・記念撮影
15：30～　解散

＊【分科会①②】【ポスターセッション】【AI共創ワークショップ】の詳細については、HPをご覧ください
＊チャットツール「Slack」で講師との質疑応答、受講者間の交流を計画しています。
Slackにはあらかじめ参加者を招待します。

運営委員

委員長
菊地滋夫（明星大学人文学部教授）
委員
諏訪茂樹（東京女子医科大学特任准教授）
福山佑樹（関西学院大学共通教育センター教授）
藤井恒人（東京農工大学グローバル教育院教授）
田原眞人（IAF JAPAN 理事、参加型社会学会理事、デジタルファシリテーション研究所代表）

問合せ先

公益財団法人大学セミナーハウス
セミナー事業部
TEL 042-676-8512(直)　FAX 042-676-1220(代)
Email：seminar@seminarhouse.or.jp

出会いの丘へようこそ
大学セミナーハウス
INTER-UNIVERSITY SEMINAR HOUSE